学校番号	3016

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合　自立　共生　創造　（東京書籍）						
副教材等	2021　生活学Navi　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科は、自分を大切にする力（自立）、他者と共に生きる力（共生）を互いに育てあう教科です。
これから社会生活を送る上で必要な知識技術を、自ら生活する者の立場で学び、自分らしい生活を創造していく力を身につけましょう。
・自分の人生や生活上の課題を、ワークや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけると共に、考察をまとめ、発信できるようにしましょう。また、他者の考察を知り、多様な考え方を学び、尊重すると共に、自分の考えを深めましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけ、周囲の人を助け、リーダーとなることができる能力を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざしましょう。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子供や高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子供や高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 調理計画、製作計画、発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 調理計画、製作計画、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 製作作品、写真 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録、 調理計画、製作計画、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期 4 5 6月	自分らしい人生をつくる	○家庭科の学び方 ○各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。 ○固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き，家族関係をつくる必要性を学ぶ。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を学習し、現在の動きを知る。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ○家族形態やライフスタイルの多様化が進んだ要因について、社会の変化と関わらせて考える。 ＊家族形態の変化の要因を考える	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生涯発達の視点に立ち、青年期の課題について具体的に考え、現在の社会状況を知り、個人として、また家族や社会の一員として、今後自分がどう生きるかと関連させて考えようとしている。 b:自分を見つめ、自分の人生や進路について考えを深め、近年の社会状況から家族がどのように変化してきたかを知り、具体的にまとめ、発表している。 c:家族形態の変遷や家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 d:社会や家族の変化を知り、自分らしく生きるために、目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。	授業観察 プリント ワークシート レポート 発表 定期考査
7月	子供と共に育つ	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。	○			○	a:母体の健康と子供の誕生、子供の心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。 d:妊娠や出産に関わる知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査

7 8 月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見出し、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価
9 月	子供と共に育つ	○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。 ○遊び、基本的生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 ○愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子供を取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。 ＊地域や社会の取り組みを考える ＊ドラマの続きを考える	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:子供の発達や生活、子供を取り巻く環境や子育てにおける課題に関心をもち、保育の重要性や社会の果たす役割、課題解決に向けて考えようとしている。 b:子供を取り巻く環境の変化と社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。 c:子供の生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集し、調査することができる d: 生命の尊さ、子どもの心身の発達や生活と環境とのかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート レポート 発表 定期考査

後期 10月	高齢社会を生きる	○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心をもち、自分とつながった存在である高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。 b:高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、まとめたり、発表したりしている。 c: 地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり、調査したりすることができる。 d: 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活、支援する場合の心構えについて理解している。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査
11月	共に生き、共に支える	○一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。 ○多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解し、ユニバーサルデザインを具体的に考える。 ○社会保障制度の理念と内容を学ぶ。	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:共生社会に関心を持つとともに、社会の一員としての自覚をもち、ボランティア活動や支え合う活動など、主体的に行動しようとしている。 b: 社会制度の理念と内容やボランティアのあり方について考えを深め、社会の一員として、共生社会を実現するために何ができるか考え、工夫している。 c: 共生社会の実現に向けて、自分のできることは何か、情報を収集・整理したり、実践にいかすなど, 支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d: 社会福祉の基本的な理念や内容、共生社会の重要性について理解し、共生社会の実現に向けて、必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査

12月	経済生活を営む	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ○国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ○消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。 ○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 生涯を見通した経済計画、消費生活における課題、消費者の権利と責任、環境保全に対する取り組みについて関心をもち、自立した消費者として行動し、持続可能な社会に向けた消費行動をしようとしている。 b: 多発する消費者問題について、その原因と対策について具体的な事例をふまえて主体的に考え、適切に判断することができる。 ・消費行動と環境とのかかわりについて、自身の生活と関連させて課題を見いだし、生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を築けばよいかを考え、工夫している。 c:身近な生活の中から、環境にかかわる生活のしかたを点検し、生活様式の見直しや環境に調和した生活など、自分の消費行動を検証することができる。 d:生涯を見通した経済計画の重要性、家庭経済と国民経済のかかわり、家計の管理、消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。 ・環境問題に配慮したグリーンコンシューマーとなることが求められていることを理解し、家庭生活と資源・環境とのかかわりについて、自立した消費者になるための知識を身につけている。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査

1月	住生活をつくる	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を得て、間取りが理解できる。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 ＊こんな家に住みたい	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:住居の機能、住空間の計画、安全で快適な住まい方、住環境などについて関心をもち、よりよい住生活について考えようとしている。 b: ライフスタイルや価値観に応じた、生命と健康を守るための暮らしのあり方について考え、工夫している。 c:情報を収集・整理し、よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取り、家族構成やライフステージ、生活価値観に応じた住空間の計画ができ、検討することができる。 d: 住居の機能、住空間の計画、住環境など、安全で快適な住まいについて科学的に理解している。	授業観察 プリント ワークシート レポート 定期考査
2 3月	衣生活をつくる	○被服の機能と着装 ＊自分に似合う色とは？	○	○	○	○	a:衣生活に関心を持ち、自分に向き合い、パーソナルカラーを見つけようとしている。 b:カラーについての考えを深め、グループで協力しながら判断している。 c:パーソナルカラーを判断する技術を身に付けている。 d:パーソナルカラーについて理解している。	授業観察 プリント ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。